

他社製品から

desknet's クラウド

お乗り換え事例

大阪府・鉄鋼業のお客様の場合

desknet's NEO

貴社ではこんな課題ありませんか？

CASE1 利用中のグループウェアのサポートが終了してしまう

CASE2 利用中のグループウェアの保守コストがかさんでいる

CASE3 テレワーク対応のため導入したツールを見直したい

⋮

ただ、いざ乗換を検討しようとしても「どう検討を進めればいいかわからない」
というケースが多いです。

本資料では、他社小規模製品のパッケージ版からdesknet's NEOのクラウド版へ
お乗り換えされたお客様の実際の声をご紹介します！



目次

- desknet's NEOにした決め手 . . . 04P
- 検討スケジュール . . . 07P
- 気になるポイントQ&A . . . 08P
- まとめ：グループウェア乗換のポイント . . . 11P

desknet's NEOにした決め手は？

他社小規模製品のパッケージ版提供終了の告知をきっかけに、他製品への乗換も含めて、検討を開始。



Before

元々は他社小規模製品のパッケージ版をレンタルサーバーで20年程利用していた。
バージョンアップ時のデータバックアップに時間がかかる等、運用管理に負担があった。
また、グループウェアのすべての機能を使い切れていないという思いもあった。
ご利用機能は、スケジュール・施設予約・電話メモ・掲示板。



After

いままで利用していた機能は問題なく代替できることに加えて、
desknet's NEOにすることで、いままでの課題が解決すると判断！

ポイントは、“ワークフロー機能”と“ポータル機能”！

次ページ：この2つに関して詳しく解説！

決め手①ワークフローの経路設定の充実

Before

他社製品のワークフローでは、申請経路を再現できないため申請業務は紙運用

After

申請経路の細かな設定を行い、申請業務の電子化を実現！

金額等に応じた申請
経路の分岐や組織・
役割単位での指定が
可能！

オプション
「AppSuite」との
連携で紙書式の再現
性もアップ！

決め手②目的別に作成できるポータル

Before

他社製品はポータルを一つしか作成できない

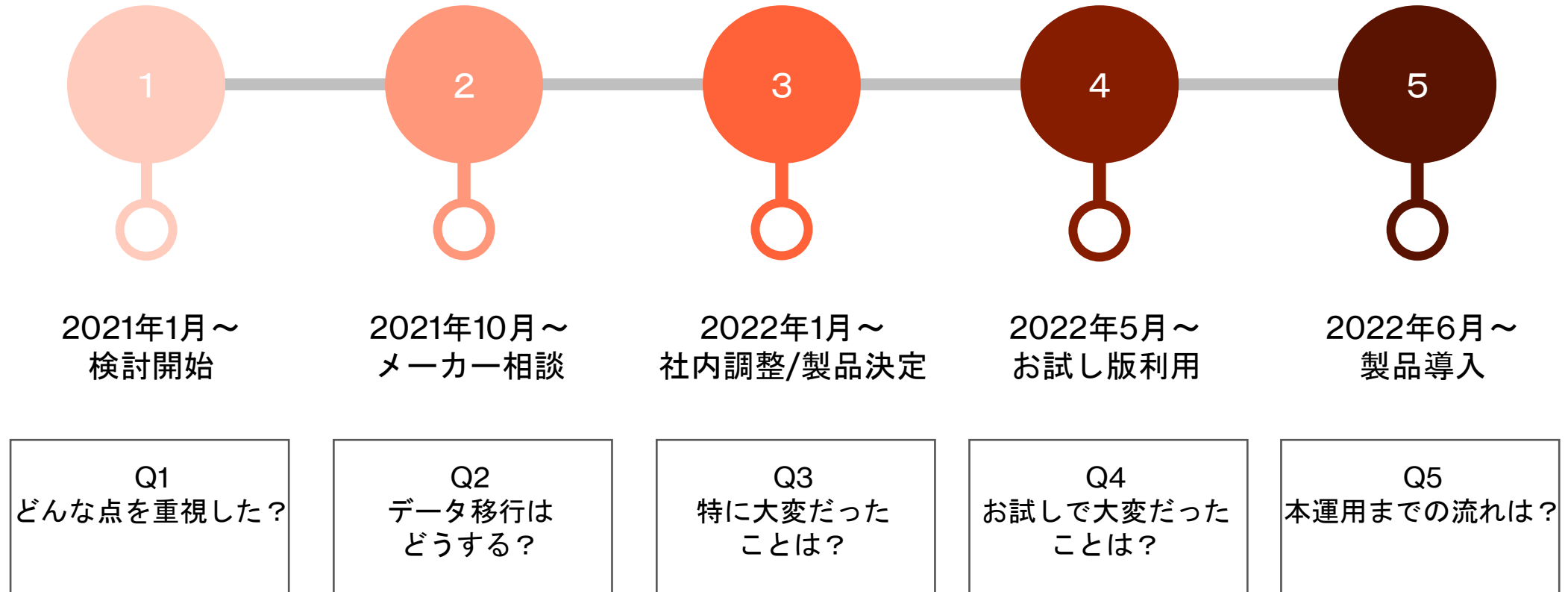
After

目的別・組織別に複数作成できるdesknet's NEOのポータルを情報発信の場所として活用！



desknet's NEOの新着のお知らせをまとめた共通ポータルの他に、総務の案内をまとめたポータルを作成。
社内申請等に社員が迷わない情報発信を実現！

検討スケジュール



次ページからは、気になるポイントをQ&A形式でご紹介します！！

気になるポイントQ&A

Q1：どんな点を重視して検討した？

A：他社製品で課題と感じていた2点を重視！

①ワークフローの充実

経路設定が不十分でワークフローを利用していなかったが、紙運用に課題を感じていたため、申請を電子化したい。

②メンテナンスの負担軽減

バージョンアップ作業の負担が大きかったため、サーバー運用をメーカーに任せられるクラウド利用も視野に入れる。

Q2：データ移行はどうする？

A：マスタとスケジュールデータのみ移行！

組織情報・ユーザー情報はCSVファイルの出入力で他社製品から移行。
全社リリースの直前に、スケジュール・施設予約情報は、管理者にて、CSVファイルで他社製品から移行。

desknet's NEOへ完全移行後も、他社製品は閲覧のみに限定して公開予定。

気になるポイントQ&A

Q3：検討する中で特に大変だったことは？

A：特に役員の説得に苦労した。

メンテナンスの負担軽減のため、クラウド版を提案したが、コスト面で、役員からはパッケージ版利用が良いと反対される。

「管理者が楽しただけ」と思われないう、ユーザーメリットも強調！

担当部署内での繰り返しのリテイク、役員会で定期的に提案、社長を含めたネオジャパン営業との打ち合わせ等を経て、クラウド版へ決定。

ワークフロー・ポータル等、desknet's NEOならではのメリットもあわせてアピール。



Point

メリット例：

バージョンアップ時、データバックアップに時間がかかるため、容量を多くしないよう、スケジュールデータは1年分のみ保管としていた。かねてより、社長からは数年前の予定もみたいと要望があったので、クラウドにすることで、実現できるとアピール。

気になるポイントQ&A

Q4：お試して大変だったことは？

A：細かい使い勝手に最初は戸惑った。

慣れの問題だとは思いますが、最初は少し戸惑った。

ワークフロー、ポータル、文書管理等、
他社製品では利用していない機能も利用するので、
社内の運用ルールをまず決める必要があると感じた。

製品検討段階では、そこまで想定していなかった。

Q5：本運用までの流れは？

A：管理部門での設定・お試し利用後社内リリース

2022年6～8月は管理部門限定で利用し、
9月に全社公開。

ネオジャパンのカスタマーサクセス部門に相談しながら、
担当部署でワークフローの帳票の整備を進める。

Point

導入後もしっかりご支援します！：1 on 1 個別相談会

ネオジャパンのカスタマーサクセス担当者が、1 on 1 で運用のこと
から機能の利用開始方法までお客様を成功に導くための相談会を随
時実施しております。※クラウド版限定

まとめ：グループウェア乗換のポイント

ここまで、実際に乗換に成功されたお客様の実際のお声を紹介してきました。最後に、乗換時に決めるべきポイントをまとめます。

Point 1 利用形態

クラウド版とパッケージ版をメンテナンスの負荷とコストを加味して比較しましょう。パッケージ版は、セキュリティ対策・バージョンアップ等の見えにくいコストも考慮しましょう。

Point 2 現行の機能が違和感なく利用できるか

代替機能があるかどうかを確認しましょう。
使い勝手が異なる場合、運用でカバーできるかを確認しましょう。

Point 3 プラスアルファで課題解決につながる機能があるか

乗換時はいままでの運用を改善する大きなチャンスです！
抱えている課題解決につながる機能やオプションがないか確認しましょう。

Point 4 データ移行をどうするか

別製品への乗換の場合、完全移行することは難しいです。
乗換先で編集可能、乗換先で閲覧のみ可能、乗換元で参照のみ、PDF等で出力等々、
移行の可否と希望を折り合いをつける必要があります。

問い合わせ・支援について

グループウェアの乗換検討をはじめたら・・・
まずはお問い合わせください！



ネオジャパン営業部 導入相談窓口

045-640-5906 (横浜本社)
06-4560-5900 (大阪営業所)
052-856-3310 (名古屋営業所)
092-419-7277 (福岡営業所)

営業時間：平日9:00～12:00 13:00～18:00
※土日祝日、弊社指定休日を除く



メールでのお問い合わせ

neo@desknets.com



フォームでのお問い合わせ

▶ [問い合わせフォームへ](#)

